

## 「令和4年度 京都市上下水道局職員研修」プロポーザルに関する質問と回答

No.	該当箇所	質 問	回 答
1	仕様書 1 O J T講座から 9 ワーク・ライフ・バランス研修のすべて 「感染症拡大時等の対応」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Zoomでオンライン研修を実施した場合、受講者は、研修会場に集合して受講するのでしょうか。各自が自宅や職場から受講するのでしょうか。</li> <li>・Zoomでオンライン研修を実施した場合、受講生は、1人1台のパソコンから受講できますか。タブレットやスマートフォンから参加の受講生はいないでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Zoomを使用してオンライン研修を実施する場合でも、受講者は、当局の研修会場に集合して受講する形態をとります（会場を複数設け、受講者を分散することはありません。）。講師のみがリモートで講義を行うイメージです。</li> <li>・受講者1人につき1台のパソコンを用意するのではなく、各会場に1台（グループワークの際は各グループに1台用意）のパソコンを用意し、講師と接続します。したがって、私物のタブレットやスマートフォンから参加する受講者はいません。</li> </ul>
2	仕様書 1 O J T講座から 9 ワーク・ライフ・バランス研修のすべて 「感染症拡大時等の対応」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画視聴研修の場合は、個別に視聴いただくという理解でよろしいでしょうか。その際、各研修の「内容」で示されている「グループによる演習」「受講者が主体的に取り組む実践的なワーク」などは盛り込めなくても問題ないでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画視聴研修とする場合は、受講者は会場に集合せず、各自で視聴する方法を想定しています。</li> <li>・ご指摘のとおり、研修内容については、仕様書の内容のまま実施するのは難しい部分があります（グループワーク等は盛り込めないものと考えています）ので、動画視聴研修として実施すると判断した際に、改めて打合せのうえ調整させていただきます。</li> </ul>

No.	該当箇所	質 問	回 答
3	仕様書 2 メンター研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴局でメンター制度を導入して、何年が経過していますか。</li> <li>・本研修以外にフォロー研修等でメンターが集まり課題を共有する場はありますか。</li> <li>・メンター制度で課題に感じていることは何ですか。</li> <li>・メンティー、メンターそれぞれの課題は何ですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当局では、平成25年度からメンター制度を導入しています。</li> <li>・現在のところ、メンターが一同に集まる場は本研修のみです。</li> <li>・当局のメンター制度では、メンターはメンティーと同じ所属から選出されることから、メンタリングとOJTの役割を混同されがちという点があります。これは、メンターの課題にも繋がりますが、受講者には、まずはメンターの役割を正しく理解したうえで、研修での学びを実践してほしいと考えています。</li> <li>・所属によっては、メンティーとメンターの年齢差が大きいことがあり、お互いにコミュニケーションの取り方に課題を感じていることがあります。また、上記とも重複しますが、所属によってメンターの役割についての理解度に差があると感じています。</li> <li>・コロナ禍の中、新規採用職員（メンティー）が先輩職員と交流する機会が少なくなっており、局におけるキャリアパターンや他所属に関する情報などにアクセスすることが難しくなっています。それにより、若手職員のキャリアの捉え方が近視眼的になったり、モチベーションの向上が難しくなっているなどの課題があります。その中でメンターに求められる役割はより重要なものとなっていると考えています。</li> </ul>